

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新市街地地区中学校備品整備事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	学校教育課			
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	遠藤 由樹			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	中学校の生徒・教諭	意図	学習環境の充実
事業内容	平成27年度に開校したおおたかの森中学校の施設管理用備品、教材用、図書購入用等の備品を購入し、学習環境の充実を図る。			
事業開始から現在までの状況変化	平成27年度に開校したおおたかの森中学校の教育環境や整備の充実を図ることを目的とし、備品の整備を行っている。開校後も生徒数及び学級数増加に伴い、机・椅子等の購入をしている。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		中学校備品購入発注件数	3	2	7	件	↑↑↑
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,030,212	3,238,834	4,290,304			
事業費(b)(円)		1,030,212	1,522,584	2,612,304			
うち一般財源		1,030,212	1,522,584	2,612,304			
職員給与費(c)(円)			1,716,250	1,678,000			
人役・職員(人)			0.25	0.25			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	おおたかの森中学校の教育環境や設備の充実を図るために備品を購入する。	取組の課題	児童数が増加する中、教育環境の整備に必要な備品について、予算の効率的な運用調達を行っていく必要がある。
今年度(H29)に実施した取組	学校運営に合わせて、計画的に学校備品の整備を行った。	今後(H30以降)の改善計画	可能な備品については、一括購入等を行うなど、経費の抑制を図る。